

市制施行80周年記念

平成29年度日本の鬼の交流博物館冬季特別展

鬼 神 に 横 道 な る もの を

（近世に描かれた酒吞童子の憤怒）



歌川国芳「頼光大江山入之図」

期 間 平成29年 **12月5日(火)**～平成30年 **2月4日(日)**

開館時間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日・祝日の翌日 ※12/28～1/4は休館しています。

入館料 大人320円、高校生210円、子ども160円
※団体割引あり

主催・問合先 **日本の鬼の交流博物館**

〒620-0321 京都府福知山市大江町佛性寺909 Tel&Fax 0773-56-1996

「鬼神に横道なきものを」

この一節は、謡曲「大江山」の有名な一場面。酔い伏した酒呑童子を狙い、源頼光がその寝静まった瞬間を斬りかかったところ、酒呑童子が憤怒してこう言い放ちました。「頼光のやり方は卑怯だ」と。抵抗するも虚しく、酒呑童子は首を討ち落とされ、頼光一行は使命を果たして都へ凱旋します。



①「川で血に染まる着物を洗う女人に会う頼光一行」

源頼光たちが丹波・丹後の国境、大江山に棲んでいた酒呑童子一党を退治した物語が最も国民に普及したのは江戸時代です。浄瑠璃や歌舞伎で上演されたり、多くの浮世絵(錦絵)が出版されたり、現代よりも江戸時代のほうが「酒呑童子」は有名だったと思われます。今回の特別展では、その酒呑童子伝説がブームとなっていた時代へと招待します。



②「酒呑童子の屋敷へ到着した頼光一行」



③「酒呑童子との酒宴のようす」



④「鬼神の姿に変貌して休んでいる酒呑童子」



⑤「閻中を狙って首を落とされる酒呑童子」

主な展示資料一覧

「大江山絵詞」 江戸時代末期

※①～⑥までの画像は「大江山絵詞」からの抜粋

「大江山酒呑童子絵巻」

江戸時代／中巻前後欠

「絵本大江山」

天明6年(1786)／作者：北尾政美

「丹波国大江山鬼退治」

江戸時代／白描画

「酒呑童子絵巻」

江戸時代中後期／作者：英一蝶

「酒呑童子絵巻詞書」 江戸時代

「大江山鬼人退治」

明治15年(1882)／作者：長谷川小信

「四天王大江山入」

江戸時代／作者：一光斎(歌川)芳盛

「大江山福寿酒盛」

江戸時代／作者：一勇斎(歌川)国芳

「頼光と四天王」

江戸時代／作者：勝川春亭画

「大江山酒呑童子退治」

江戸時代

作者：一英斎(歌川)芳艶画

「大江山千丈ヶ嶽酒呑童子由来」

明治時代後半／作者：松井治三郎

ほか多数



⑥「見事、酒呑童子を討ち取って都へ凱旋する頼光一行」

顔出しパネル

特別企画 1

酒呑童子×源頼光 決闘の場面を体験!



インスタ映え必須! 源頼光になりきって酒呑童子と闘おう! 「鬼神に横道なきものを」その瞬間の酒呑童子の怒りを体験して、写真に残そう!

特別企画 2

節分に備えよう!



鬼は外、福は内

鬼のお面

鬼博所蔵の鬼面を再現したリアリティーあるお面を来館者にプレゼント!

数量限定!! 先着500名様まで!!

鬼博特製「節分の歴史」パンフレット付き



日本の鬼の交流博物館 〒620-0321 京都府福知山市大江町佛性寺909 TEL&FAX 0773-56-1996